



イベント 終了しました

世界の音楽2017-2018 第1回「口琴の響き、その歴史 ～日本とその周辺の間琴文化と歴史を知る～」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>ユーラシア大陸で生まれた楽器、口琴。世界中で演奏されているにもかかわらず、表舞台に登場することはあまりありません。日本では、アイヌ民族の竹製の口琴「ムックリ」が比較的知られていますが、埼玉県のとつたの遺跡（さいたま市大宮区・羽生市）から出土した、合計3本の平安時代（10世紀初頭）の鉄製口琴のことは、ほとんど知られていません。ムックリと同タイプの薄板状の口琴は、中国遼寧省の骨製のものが最古の出土例（紀元前20世紀）ですが、金属製の湾曲型のもは、アジアでもこれほど古いものは例がなく、また、ヨーロッパでの発掘例は12-13世紀以降。現時点では埼玉県出土の3例が世界最古です。そんな口琴の、日本と、その周辺民族と歴史と文化を探ります。</p>
日にち	2017年06月20日（火） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場

場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（事前申込順）
参加費用	1,000円

講師・出演者	直川礼緒
プロフィール	<p>■直川 礼緒（ただかわ れお）日本口琴協会代表 1959年生まれ。大学時代にアイヌ民族の口琴ムックリに出会い、その後インドネシア・バリ島の口琴ゲンゴンに遭遇、ムックリとの共通性と相違性に興味を持つ。以来、台湾、フィリピン、インドネシアの島々など、口琴を追いかけて旅する。1990年、日本口琴協会を設立。2011年第7回国際口琴大会（サハ共和国）のコンテストで、9名の「世界口琴名人」の一人に選ばれる。演奏活動のほか、口琴奏者の招聘公演の企画・制作、口琴を中心とした伝統音楽CDのプロデュースなどを行う。日本口琴協会代表、国際口琴協会理事。東京音楽大学民族音楽研究所公開講座講師。2005年ロシア連邦サハ共和国文化功労者賞、同市民栄誉賞受賞。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
協力	東京音楽大学民族音楽研究所

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2017年04月20日 10:00 から2017年06月20日 19:00
申込方法	①お電話（03-3502-3340）、②Eメール（college@hibiyal.jp）、③ご来館（1階受付）いずれかにて講座名（または講演会名）・お名前（よみがな）・お電話番号をお知らせください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 06月						
	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

発信日

2017.04.20

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)